
メ～テレ 横井正彦社長就任記者会見

メ～テレ（名古屋テレビ放送）は7月30日に社長会見を開きました



メ～テレ代表取締役社長 横井正彦

会見の要旨は以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。先月20日に前任の荒木社長からバトンを引き継ぎ、メ～テレ第9代社長に就任しました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

私は1955年（昭和30年）に岐阜県多治見市に生まれました。NHK名古屋がテレビ放送を開始したのが前年の54年ですから、私はこの地域で、その始まりの時代からテレビとともに生きてきたこととなります。思い起こせば、小さい頃から数多くのテレビ番組に心躍らせて育ちました。そのときの私にとって、テレビはいつも「ワクワク・ドキドキさせてくれる箱」というイメージでした。

“若者のテレビ離れ”が叫ばれて久しいわけですが、自分自身が体験した、あの頃のテレビの「ワクワク感・ドキドキ感」を何とかして取り戻し、いまの若



News Release

2014年7月30日

い人たちにも、ぜひとも「テレビは面白い。テレビは楽しい」と実感してもらいたい、そう考えています。

1年前に朝日新聞からメ〜テレに来て、「テレビの輝き」とは何か、仲間たちと話してきました。昨年の秋からは「次世代放送」担当という肩書きを与えられ、これからのテレビについて社内で議論を重ねてきました。その議論を通じて、「テレビの輝き」を取り戻すためには、この「次世代放送」への対応がカギになると考えるようになりました。具体的に、何を、どう取り組むのか、いくつかのトライアルに照らして、後ほどご紹介させていただきます。

まず視聴率からご報告します。開局以来初となった2012年度に続き、2013年度も2年連続の3冠をいただくことができました。今年度に入り、視聴率争いはますます激しくなっておりますが、朝夕のベルト番組を中心に自社制作番組は、引き続き好調を維持しています。特に夕方の「UP!」は、4月クール平均9.9%で、番組開始以来初の同時間帯単独トップを記録しました。

視聴率全般では、上期前半はワールドカップの特別編成も重なり、若干苦戦をしている状況ですが、好調な自社制作番組とタイムテーブルが安定する7月以降で、巻き返して行きたいと思っています。

また、4月からは、改めて『「メ〜テレ」は「6ch」です。そして、そのキャラクターは「ウルフィ」です』といった、ブランディングのキャンペーンにも取り組んでいます。今月から実施中の「まだまだガンバル。メ〜テレ」キャンペーンでは、ウルフィが街に出て、1万人の皆さまと握手をし、「宣伝部員ウルフィ」の名刺とウチワをお配りしています。

続いて売上について簡単にご報告させていただきます。今年度に入って最初の懸念は、やはり「消費税増税」の影響でした。4月のスポット売上を見ますと、確かにその影響で前年度割れとなりました。しかし5月、6月には盛り返し、スポット売上、放送事業売上ともに、第1四半期では、ほぼ前年度並みの売上をキープすることができました。夏場以降の景況は引き続き悪くない見通しであり、全社を挙げて様々な連携・協力を行なって、積極的な営業活動に取り組んでまいりたいと思います。

これからの営業活動を考える上で、私たちが重要なポイントとして捉えているのは、テレビを取り巻く環境の変化への、迅速、かつ柔軟な対応です。テレビは技術に規定されるメディアです。急速な情報通信技術の進展は、人々の視聴スタイルを、社会のなかのテレビの位置を、大きく変えていきます。「次世代放送」への対応策は、すなわち新生メ〜テレへの道筋につながります。



News Release

2014年7月30日

2011年に完全デジタル化を果たしたテレビは、息つく暇もなく新しい技術が生まれてきています。大きく分けて2つです。ひとつは4Kテレビ。もうひとつは、放送とWebを連携させた新しいサービス、テレビのスマート化です。

4Kについては、すでに次世代放送推進フォーラムの「チャンネル4K」で試験放送がスタートしています。当面、地上波での4K放送はありませんが、メ〜テレはいち早く4Kカメラを購入し、さまざまなトライアルをしています。

地上波テレビ初の試みとしては、自社の中継車を使った初のサッカー4K中継があります。来月10日、岐阜の長良川競技場で行なわれるJ2のゲーム「FC岐阜 vs 愛媛FC」をメ〜テレが4Kカメラ4台で中継し収録します。あわせてテレビ朝日・朝日放送と共同で、その映像をライブで大阪・ABCホールに送る「伝送実験」を行ないます。

またメ〜テレ初の4K番組を近く制作します。名古屋テレビネクストとの共同制作で、番組名は「オールフォーダンス」。国内の実力派ダンサーに集まっていたいただき、彼らの最高のパフォーマンスを4Kならではの高精細な画質で撮影します。2Kでの放送は、ダンスチャンネルでは10月に、またメ〜テレでも今年の秋に予定しています。

ところで、4Kコンテンツの制作には相当の習熟度が求められます。ベテランカメラマンの話では、従来のカメラに比べ、4Kカメラはフォーカス合わせが非常に難しく、4Kならではの高精細な画質・臨場感を生かした画作りのためにも、かなりレベルの高いテクニックが求められる、ということでした。このため4K撮影のノウハウ習熟を目的に、地元のまつり、季節の花の名所など、地方色ゆたかなコンテンツ制作に取り組んでいます。現在地上波では4K放送ができないため、4Kでの再生は、今年9月の「メ〜テレ秋まつり会場」を予定しています。4Kのマルチ画面を使っての上映で、ひとりでも多くの方に、4Kの素晴らしさを味わって頂きたいと思っています。

もうひとつのテレビの新しい技術、テレビのスマート化については、いま具体的な取組みを検討中です。より豊富なコンテンツ・新しいサービスを提供することによって、テレビの可能性を広げ、テレビの魅力を高めていく、それが若い人たちをテレビに引き戻す“きっかけ”になると、私たちは考えています。

今後もメ〜テレは、「次世代放送の先進局」を目指して、さまざまなトライアルに取り組んでまいります。

それでは続いて、フィギュアスケート・ジュニアグランプリシリーズの取組みについてご報告します。メ〜テレでは、テレビ朝日と共同で、9月にモリコロパークで開かれる「ジュニアグランプリシリーズ」を後援することになりました。大会には「メ〜テレ杯」と冠をつけ、その盛り上げのため、私ども精一



News Release
2014年7月30日

杯取り組んでまいります。

ジュニアグランプリシリーズが日本で開催されるのは4年ぶりですが、意外にも愛知県での開催は初めてです。愛知県といえば、これまで伊藤みどりさんに始まり、安藤美姫さん、浅田真央さん、鈴木明子さん、小塚崇彦さんといった、錚々たる世界のトップ選手を生み出してきました。その愛知県に、未来のトップスケーター達が集まり技を競うことは、非常に大きな意味を持つものと考えています。現役を引退されたばかりの鈴木明子さんと織田信成さんの模範演技も予定されており、ジュニアのスケーター達に、世界のトップレベルの演技に触れてもらい、今後の励みとしてもらいたいと思います。

次に、全国ネット番組のお知らせです。全国ネットの特別番組を9月7日(日)午後1時55分から放送します。タイトルは“武士ごはんランキング 江戸 VS 京都”。いま映画でもドラマでも「武士」を描いたものが人気を博していますが、まさにその「武士」たちが愛したグルメを求めて旅をするエンタテイメント特番です。出演者は高橋英樹、京本政樹をはじめ充実のラインナップです。時代劇スターたちも思わずうなる「和食のルーツ」の数々を楽しむことができます。メ〜テレのレギュラー番組だった「ザキロボ！」発の企画で、番組キャストのアンタッチャブル山崎・ロバートも出演しています。そのザキロボは、この秋から毎週土曜日午後放送のレギュラー番組として更にパワーアップしますので、ご期待頂きたいと思います。

メ〜テレの「社是」には、「放送事業を通じて、地域社会の発展に貢献する」とあります。朝夕のベルト番組「UP!」「ドデスカ!」をはじめ、さまざまな番組を通じて「地域貢献」に努めていきたいと考えています。

第3次中期経営計画は、今年の4月から2年目に入っています。経営目標にある「短期的な収支にとらわれず、将来性のある番組・コンテンツに先行投資する」。これが基本姿勢です。荒木前社長の時代は、視聴率は上向き、経営指標も順調に推移しました。この勢いをつないでいくためにも、常に挑戦する気概だけは忘れずに邁進していくつもりです。

メ〜テレのキャラクター・ウルフィは羊の皮を脱ぎました。今後は視聴者の方をはじめ、企業・自治体・学校などとコラボして、新しい価値・新しい人の流れ・新しいビジネスを生み出していきたいと考えています。ウルフィと一緒に、私たちメ〜テレの力で、この地域を、もっともっと明るく楽しいところになりたいと願っています。どうぞ、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

問合せ先 メ〜テレ(名古屋テレビ放送株式会社)広報部 那須・浅沼 052-322-7108